

広報

にしあいつ

No. 643

5

2012

(平成24年)

西会津小学校スタート

- P 2～3 平成24年度予算のあらまし
- P 4～5 介護保険料の改定
- P 6 西会津小学校開校
- P 7 食品等の放射能検査開始



平成24年度一般会計予算

平成24年度
予算の
あらまし

復興元年

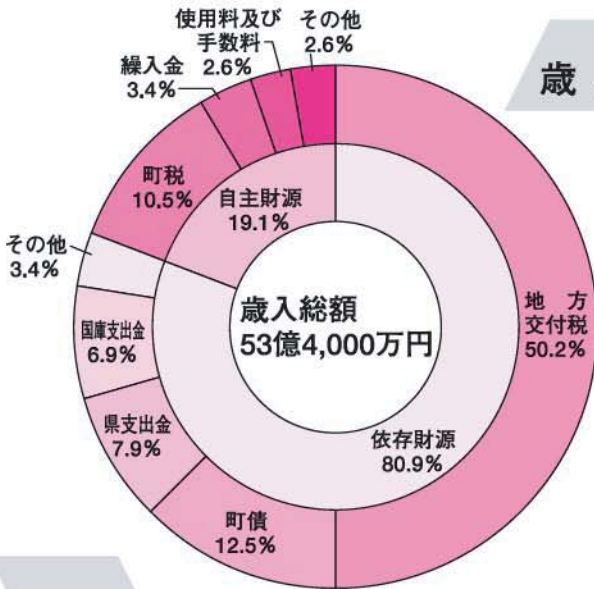
元気なまちづくりを目指し

- 地域経済の活性化
- 教育の振興と人材育成
- 健康づくりと安全・安心

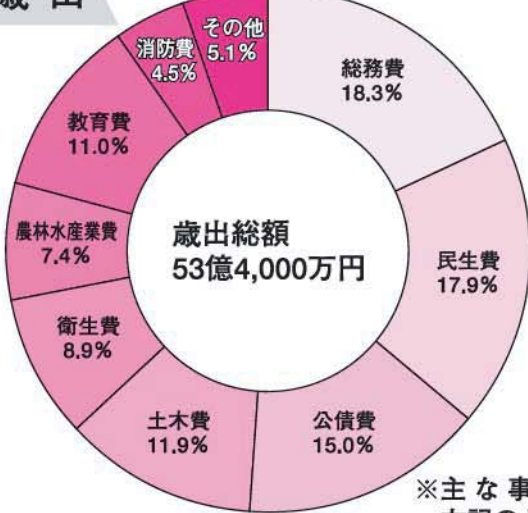
平成24年度の町の当初予算は、「西会津町総合計画」に基づき、「みんなの声が響くまちにしあいづ」を基本に、①「こころ豊かな人を育むまちづくり」、②「豊かで魅力あるまちづくり」、③「人と自然にやさしいまちづくり」の3つの柱に沿って組み立てられ、計画的に事業を行っていくことにしています。

この総合計画に基づいて編成された平成24年度一般会計予算の総額は、53億4千万円となり、ケーブルテレビ高度化事業などの大規模な事業が一段落したため、前年度に比べ2億8千200万円の減となりました。

歳入



歳出



※主な事業は左記のとおり

昨年3月の東日本大震災、7月の新潟・福島豪雨、そして度重なる豪雪と自然災害が連続し、町では大きな被害を受けました。

また、大震災により発生した東京電力・福島第一原子力発電所の事故は、いまだに収束の見通しが立たず、福島県民の健康や生活、経済に大変深刻な影響を及ぼしています。

このため町では、放射線量のモニタリングにより、町民の皆さんの安全・安心を確保していますが、農業や観光業などの産業分野では風評被害の影響を受けています。

このような極めて厳しい状況の中、4月から平成24年度の予算に基づく事業が始まりました。4月1日にはデマンドバスが運行を開始し、また、同6日には西会津小学校が開校しました。本年度は町の復興元年と位置づけ、さらに元気なまちづくりに向けて各種事業を着実に実施していきます。

● 重点目標

町では、①地域経済の活性化、②教育の振興と人材育成、③町民の健康づくりと安全・安心のまちづくりを重点目標とし、その実現に向けて国・県の方針や制度改正の動向を注視しながら、限られた財源の中で、創意・工夫を凝らした予算の執行に努めていきます。

とりわけ本年度は、災害からの復旧・復興、さらに、原発事故による風評被害対策に努めていきます。

● 主な事業

具体的には、継続事業である「西会津町縦貫道路整備（町道野沢柴崎線改良）」をはじめ、「携帯電話等鉄塔施設整備」、「活力ある地域づくり支援」、「新規就農者あんしんサポート事業」、「園芸・菌床栽培ハウス整備」、「子育て医療費サポート事業」、「各種検診・予防接種事業」、「消防・防災施設整備」などに取り組むほか、新規事業として「放射性物質検査」、「ふくしま復興町内企業支援補助」、「野沢駅通り街路灯整備」、「デマンドバス（生活バス）運行」、「西会津小学校新築（用地取得・造成）」などに取り組んでいきます。

平成24年度の主な事業（一般会計）

◎商工費	8,547万円
野沢駅通り街路灯整備工事……………1,043万円	
グリーンツーリズム推進協議会補助金……………155 "	
◎土木費	6億3,607万円
除雪費……………1億3,412万円	
道路橋りょう維持修繕費……………1,652 "	
町道新設改良事業……………3億1,321 "	
木造住宅耐震診断促進事業……………46 "	
◎消防費	2億3,877万円
防災行政無線改修工事……………1,500万円	
防火水槽新設工事……………1,590 "	
消防ポンプ自動車購入……………1,924 "	
◎教育費	5億8,600万円
西会津小学校新築事業……………2億2,300万円	
スクールバス購入費……………800 "	
放課後子どもプラン推進事業……………87 "	
文化財保護費……………583 "	
◎災害復旧費	3,134万円
◎公債費	8億271万円
地方債償還元金……………7億357万円	
地方債償還利子……………9,864 "	
◎予備費	500万円

◎議会費	9,206万円
◎総務費	9億7,758万円
携帯電話等鉄塔施設整備事業……………6,184万円	
野沢まちなか再生事業……………158 "	
集落支援員委託料……………382 "	
活力ある地域づくり支援事業補助金……………300 "	
ケーブルテレビ高度化事業……………1,517 "	
デマンドバス（生活バス）運行事業……………7,582 "	
◎民生費	9億5,585万円
後継者対策事業……………165万円	
子育て医療費サポート事業助成費……………1,646 "	
放課後児童クラブ委託料……………705 "	
◎衛生費	4億7,431万円
子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業……………655万円	
放射性物質検査手数料……………326 "	
◎労働費	6,018万円
緊急雇用創出基金事業（震災対応事業）……………6,000万円	
◎農林水産業費	3億9,466万円
中山間地域等直接支払事業……………7,887万円	
園芸・菌床栽培ハウス整備事業……………2,389 "	
奥川ライスセンター機能強化支援事業補助金……………540 "	
青年就農給付金事業補助金……………900 "	
有害鳥獣駆除事業……………377 "	

各会計の予算額

単位：万円

会 計 名	平成24年度 予算額	前年度比
一 般 会 計	534,000	△28,200
特 別 会 計 等	324,998	△4,287
工業団地造成事業特別会計	8,868	0
商業団地造成事業特別会計	1,382	△300
住宅団地造成事業特別会計	1,404	△76
下水道施設事業特別会計	22,754	△616
農業集落排水処理事業特別会計	10,048	393
個別排水処理事業特別会計	4,916	△1,684
後期高齢者医療特別会計	10,601	49
国民健康保険特別会計		
事業勘定	101,259	726
診療施設勘定	26,322	△12,915
介護保険特別会計	94,588	365
簡易水道等事業特別会計	10,284	1,179
水道事業会計		
収益的収支	14,980	60
資本的収支	17,592	8,532
合 計	858,998	△32,487

●特別会計等
町では一般会計のほか、10の特別会計と水道事業会計で事業を行っています。
本年度の特別会計等の予算額は総額で32億4千998万円となりました。
この特別会計等では、上下水道の整備や運営のほか、国民健康保険、国保診療所、後期高齢者医療や介護保険などの運営を行っています。これらの会計すべてが、私たちの快適な暮らしや健康を守るために重要な役割を果たしています。



昨年度の予算説明資料

町では、今年も予算の内容をわかりやすく解説した「予算説明資料『今年の子算と主な事業』」を町内全戸に配布することになっています。予算の内容についてはそちらもご覧ください。

65歳以上の介護保険料が改定されました

今年度から新たに第5期介護保険事業計画（平成24～26年度）がスタートしました。これに伴い65歳以上の方（第1号被保険者）の3年間の介護保険料が決定しましたので、本号ではその内容についてお知らせします。

介護保険とは？

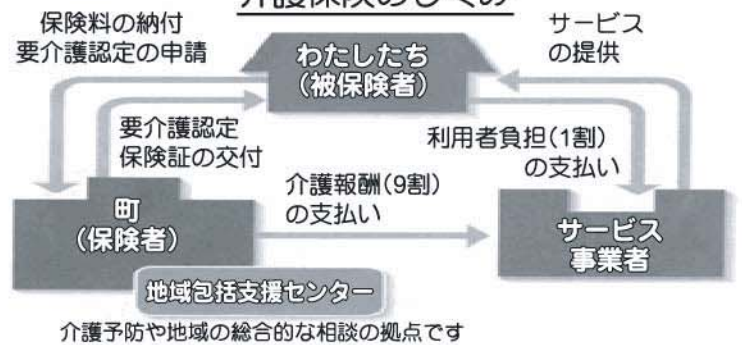
介護保険は、40歳以上の皆さんが加入者となって保険料を納め、介護が必要になった時には、加入者が費用の一部を負担してサービスを利用する制度です。住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるように町が運営しています。

第5期介護保険事業計画は

国の基本方針「地域包括ケア」の考え方に基つき、高齢者の皆さんが要介護状態になったとしても可能な限り住み慣れた地域で生活できるよう5つ（介護、予防、医療、生活支援、住まい）のサービスを一体的に提供し、さらに、認知症支援策の充実をはじめ、医療との連携、高齢者の居住にかかる連携、生活支援サービス等重点事業として町が策定した計画です。

具体的には、保健・医療・福祉の連携を強化した健康づくりや介護予防事業のほか、地域での支え合い推進のための「地域見守りネットワーク」や「サロンづくり」の支援、認知症サポート養成講座の開催等を行う計画で、介護施設入所待機者の解消と居宅介護サービスの充実に努めていくことにしています。

介護保険のしくみ

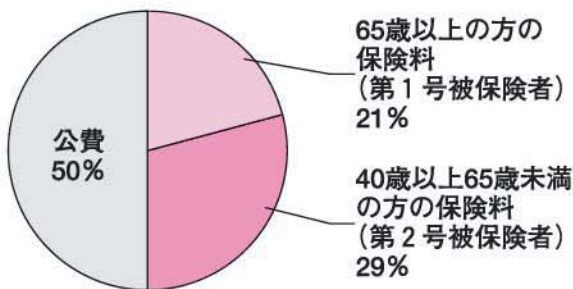


介護保険の財源

介護保険の財源（利用者負担分を除く）は、図表1のように介護保険加入者の皆さんからの保険料と、国や県、町などが負担する公費で賄われています。

基本的に65歳以上の方からの保険料は21%（西会津町の場合約15%）、40歳以上65歳未満の方の保険料は29%となっています。介護が必要になった時に、誰もが安心してサービスを受けられるよう保険料は忘れずに納めましょう。

図表1 介護保険の財源



※利用者負担分を除く、平成24～26年度までの割合

図表2 介護保険料基準額の算定方法



介護保険料の算定方法

介護保険料は、3年間の介護サービス給付費の総額を推計し、それを賄えるよう算出した「基準額」をもとに決められます（図表2）。

今期の基準額（年額）は5万2千200円で第4期計画（平成21年度から平成23年度まで）と比較すると6千120円（月額510円）の増となりました。

介護保険料が増加した理由

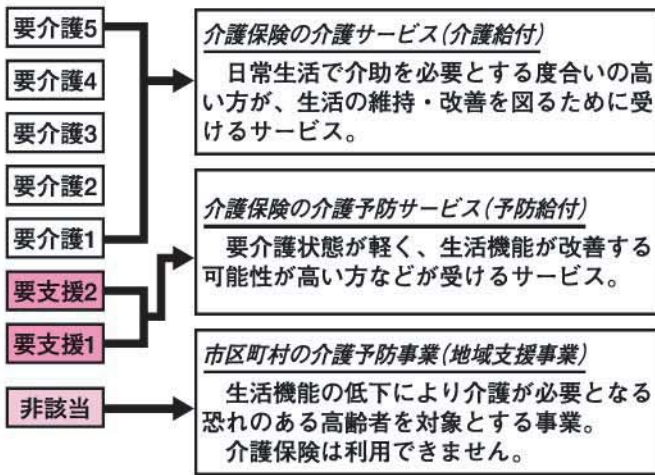
保険料が増加した理由は、高齢化が進み、サービスの利用者や利用量が増える見込みであること、また、65歳以上の方の減少による保険料収入の減、さらに、介護サービス事業者への介護報酬の改定によるもので、町では、介護給付費準備基金から3千万円を繰り入れ、保険料の負担軽減を図ったほか、県財政安定化基金交付金なども充当しましたが、保険料は13・3%増加しました。



図表3 65歳以上(第1号被保険者)の保険料

段階	区分	算定	保険料(年額)
第1段階	生活保護を受けている方 老齢福祉年金を受けていて、世帯全員が 町民税非課税の方	基準額×0.5	26,100円
第2段階	町民税非課税世帯で合計所得金額と 課税年金収入額の合計が80万円以下 の方	基準額×0.5	26,100円
第3段階	町民税非課税世帯で合計所得金額と 課税年金収入額の合計が80万円を 超える方	基準額×0.75	39,150円
第4段階	本人が町民税非課税で、世帯の誰かが 町民税を課税されている方	基準額	52,200円
第5段階	本人が町民税を課税されている方で、 合計所得金額が190万円未満の方	基準額×1.25	65,250円
第6段階	本人が町民税を課税されている方で、 合計所得金額が190万円以上の方	基準額×1.5	78,300円

図表4 要介護状態の区分



国民健康保険に加入している方は、国民健康保険税として算定されます。世帯主は、医療保険などと合わせ、国民健康保険税として納めることとなります。

職場の医療保険に加入している方は、医療保険で設定される介護保険料率と給与額等に応じて保険料が決定されます。介護保険料は医療保険料などと合わせ、給与等からいただくこととなります。また、医療保険の場合は事業主の負担があります。

40歳以上65歳未満の保険料

65歳以上の保険料

65歳以上の方の保険料は、3年間の介護サービス給付費の総額を推計し、それを賄えるよう算出した「基準額」をもとに、所得に応じ、左上の図表3により算定された保険料となります。

保険料の納め方は、受給している年金の額によって、年金から天引きされる特別徴収または納付書・口座振替による普通徴収となります。



介護サービスの利用手順

- ① 申請
本人または家族が町健康福祉課窓口にて認定申請します。
- ② 認定調査
町の職員等が自宅を訪問し、聞き取り調査などを行います。また、主治医に意見書を作成してもらいます。
- ③ 審査・判定
介護認定審査会が訪問調査の結果や主治医の意見書をもとに

審査し、どの程度の介護が必要かを判定します。

④ 認定・通知

必要な介護の度合いに応じた要介護状態の区分(図表4)で認定され、申請者にはその認定結果通知書と保険証が送られます。

⑤ ケアプラン作成・サービス利用
必要なサービスの内容と量を示す介護(予防)ケアプランを作成し、プランに基づいたサービスを利用することになります。

介護サービスの利用料

サービスを利用した際の利用料は、原則としてかかった費用の1割です。ただし、要介護状態の区分毎の上限(支給限度額)

を超えてサービスを利用した場合は、上限を超えた分は自己負担となります。

介護予防に向けて

町では、介護予防事業として講演会や高齢者健康水泳教室、自治区・老人クラブを対象とした介護予防教室、機能訓練事業、相談事業などを行っています。

日ごころからの健康づくりがとても大切です。「健康がいちばん」を合言葉にバランスの取れた食生活や運動に心がけ、介護予防に努めましょう。

【問い合わせ先】

健康福祉課・福祉介護係

☎ 45-2214

携帯電話通話エリア拡大

平成22年度、23年度事業で進めてきた黒沢地区と大字屋敷地区の携帯電話等エリア整備事業が完了し、3月から携帯電話の利用が可能になりました。利用できる携帯電話はNTTドコモとau(エーユー)です。

新たに整備した2地区の鉄塔は、どちらも高さが40メートルで広範囲な区域をカバーします。

この事業完了により町の携帯電話通話エリアの世帯カバー率は94.6パーセントになりました。

今年度は、弥平四郎と弥生地区に整備する計画です。



黒沢地区鉄塔

全校児童272名

西会津小学校

開校

町内の小学校5校を統合した新生・西会津小学校の開校式が4月6日に行われました。

開校式には町関係者、来賓、そして期待と不安を胸に登校した児童たちが出席しました。

式では、伊藤町長から松本敬之初代校長、児童代表の江川遥人君に校旗が手渡され、新しい歴史の幕が開きました。



▲校旗を受け取る松本校長(中央)、江川君(右)

校歌

作詞・作曲 小椋 佳

一、銀嶺輝く飯豊を仰ぎ
桐の花匂う会津の里に
元気に集うわたしたち
ここで学びここで励み
連峰越える志共に培う
真求める人になろう
心豊かな人になろう
ああ西会津小学校

二、銀鱗きらめく阿賀川清く
おとめゆり薫る緑の町に
笑顔で通うわたしたち
ここで鍛えここで磨き
未来を拓く夢想友と育む
強く優しい人になろう
時代を創る人になろう
ああ西会津小学校



▲児童代表誓いの言葉

町では、少子化による児童の減少に伴い、学校教育全般にわたり小規模校の弊害がみられる状況から、平成21年10月に、町小学校適正配置審議会を設置し、最も望ましい教育環境のあり方について検討を始めました。その後、平成22年5月には、同審議会が町に対し「教育効果を高めるため、早期に5校を1校に統合することが望ましい」との答申を行いました。

これを受け町では、小学校の統合に向けた基本方針を策定し、保護者や町民の皆さんの理解をいただきながら、開校に向けた各種作業を進めてきました。

また、平成22年10月には町小学校統合推進委員会を設置し、同委員会において校名をはじめ、校歌や校章、スクールバス運行計画などについて検討・審議を重ねてきました。

開校式では、伊藤町長が「本校の児童が将来の社会を支える人材として大きく成長することを期待します」と式辞を述べたあと、井上町教育委員会委員長、松本校長があいさつし、武藤町議会議長が祝辞を述べました。

校歌の披露では、作詞・作曲をした小椋佳さんからの「心豊かで、強く優しい、そんな子どもに育ってほしいという思いを込めました」とのビデオメッセージのあと、さゆりジャズオーケストラの伴奏のもと児童たちが校歌を斉唱し、新しい校歌が披露されました。

旧小学校の代表児童による誓いの言葉では、武藤史明君ら5人が「みんなに自慢できるような新しい伝統を築くことを誓います」と力強く宣誓しました。今後、町では平成26年度の完成を目指し、西会津中学校の隣接地に新校舎の整備を進めていく考えです。

食品等『放射能検査』開始



町役場内で行われている放射能簡易検査

町では、町民の皆さんが口にする食品等の安全・安心を確保するため、食品（自家消費農作物）等の放射能簡易検査を無料で実施しています。

放射性セシウムの新基準値

単位：ベクレル／kg

食品区分	基準値
飲料 水	10
牛 乳	50
乳 児 用 食 品	50
一 般 食 品	100

※セシウム134とセシウム137の合計値

東京電力・福島第一原子力発電所の事故に伴う原子力災害対策の一環として、町では食品等の放射能簡易検査を3月22日から開始しました。

この検査は、消費者庁と福島県から貸し出された2台の分析装置により行っています。

これまでの検査結果では、いずれの食品等からも放射性物質は検出されていません。

なお、放射性物質の基準値については、国において見直しが行われ、4月1日から放射性セシウムは左表の基準となりました。

この検査の申し込み方法などは次のとおりです。希望される方は、あらかじめ電話により予約のうえ、食品等を持ち込みください。

◆検査場所◆

町役場 本庁舎 2階
『放射能検査窓口』

◆対象者◆

町内に住所を有する方

※この検査は消費者を対象とするもので、販売目的等の食品の安全を証明するものではありません。

◆受付・検査日時◆

平日（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）
午前9時から午後5時まで

◆検査対象の放射性物質◆

セシウム（134・137）

◆申込方法◆

電話による予約制です。

◆専用電話 ☎45-4516◆

◆検査対象食品等◆

自家消費野菜・米、山菜、きのこ、井戸水などが対象で、検査が終了した食品等は返却します（井戸水等は返却しません）。検査は1回につき1食品で無料です。

◆【検査対象外のもの】◆

▽出荷・摂取制限を受けている食品等

▽安全が確認され流通・販売しているもの

▽販売目的のもの

▽土壌や灰など食品等でないもの

▽水道水やミネラルウォーターなど

◆検査の所要時間◆

①食品等 50分程度
②井戸水等 90分程度

◆食品等の持ち込み方法◆

▽量は1000cc（1L）「200ccの計量カップ5杯」
▽井戸水等は、検査日の2日前に汲み取り、それをよく洗ったペットボトルに入れてください。

※野菜等は、生のもの（加工・加熱してないもの）をみじん切り、もしくは、すりおろし（野菜等から出た水分も一緒に）ビニール袋に入れ密封し持参してください。可能であれば、ミキサー等でペースト状にしてください。

◆検査結果◆

※その他の食品等については電話予約の際に詳しくお知らせします。

◆検査結果の公表◆

検査結果は町ホームページなどで公表しています。なお、個人情報に適切に管理し、公表しません。

◆【問い合わせ先】◆

放射能検査窓口・商工観光課
☎45-4516

デマンドバス運行開始

4月1日、デマンドバス出発セレモニーが開催され、新たなバスの運行が始まりました。

このデマンドバスの運行により、野沢尾野本循環線運行地域外では、予約をすれば、すべての集落で毎日、バスを利用できるようになりました。

セレモニーでは、伊藤町長が「利便性が大きく向上し、さらに多くの皆さんに利用いただけるものと期待します」とあいさつ、武藤町会議長、会津乗合自動車株式会社の福田正代表取締役社長が祝辞を述べたあと、テープカットが行われ、新たな交通体系によるバス運行がスタートしました。



交通事故ゼロを目指し

4月6日から15日までの春の交通安全運動期間にあわせ、町交通会と交通安全母の会が中心となった朝の街頭啓発が町内7カ所で行われました。

新学期が始まった初日の4月6日には、雪が降る中、早朝より交通会、交通安全母の会、関係者の皆さんによる出動式が行われ、交通事故ゼロに向けて交差点での登校中の児童生徒の見守りや、ドライバーにシートベルト着用を呼びかける活動が展開されました。



伝承員制度を創設

町では、貴重な民俗芸能や伝統技術などを保存、伝承し、後世に伝えるため「伝承員制度」を創設し、3月30日、町役場でこの伝承員への認定証交付式を行いました。今回、初めて認定された伝承員は6名で、伊藤町長から一人ひとりに認定証が交付されました。

交付式にあたり伊藤町長は「生涯学習、各種講座などで多くの皆さんにそれぞれの技を伝承し、町の文化を高めていただきたい」とあいさつしました。

写真：(左から) 鶴巢光男さん[藤つる細工・西洋陶芸]、佐藤寅男さん[つる細工]、須藤一さん[つる細工]、佐藤トキイさん[昔語り]、小瀧達男さん[日本陶芸]、渡部啓さん[黒沢早乙女踊りほか]



善意に感謝

4月12日、西会津ライオンズクラブの高濱秀道会長らが、4月1日に開催した東日本大震災復興支援コンサートで寄せられた義援金寄付のため町役場を訪れました。

このコンサートは本町と交流を行っている「いわき市立豊間小学校」の一日も早い復興を支援するため、義援金を呼びかけて町公民館で初めて開催されました。

高濱会長は「これからもコンサートを続けていきたい」と伊藤町長に義援金を手渡しました。義援金は、町から豊間小学校へ届けられます。





転入教職員を歓迎

平成24年度の転入教職員対面式が、4月3日に町役場で行われました。

式では始めに、転入した20名の教職員が紹介され、その後、伊藤町長が「西会津小学校が開校し、新しい歴史が皆さんの手によって創られる。心豊かで、たくましい児童を育み、子どもたちが大きく羽ばたくことを期待します」と歓迎の言葉を述べました。

最後に西会津小学校の松本敬之校長が代表し、あいさつをしました。

転入教職員の皆さんは新たな学校での勤務に向け、さらに気を引き締めている様子でした。

希望に満ちた中学校生活スタート

4月6日、西会津中学校の入学式が行われ、真新しい制服に身を包んだ55名が入学しました。

式では、佐久間雄彦校長が「自主的に色々な活動を通して自分自身を成長させてください」と式辞を述べました。

その後、入学生代表の佐藤麗華^{れいか}さんが「西会津中学校の生徒として誇りを持ち、自分の目標に向かって日々努力します」と誓いました。

緊張した面持ちの新入生は、これから始まる中学校生活に、大きな希望で胸を膨らませていました。



健康水泳教室開講

本年度の高齢者健康水泳教室開講式が、4月10日、さゆり公園で開催されました。

この水泳教室は運動不足の解消と健康増進を目的に、町が平成6年に開始したもので、本年度で19年目を迎えました。

町では現在、「健康がいちばん」をキャッチフレーズに、一層の運動推進を重点目標としており、このような中、本年度は57人が受講することになりました。

この日、受講者は早速、体調をチェックしてプールに入り、水中歩行などを行っていました。

すこく 459美しい道づくりへ向け

地域の団体と町、県の三者が協働して道路の清掃美化活動を行い、道路環境の保全に取り組むことを目的とした「うつくしまの道サポート制度」の合意書調印式が4月16日、町役場で行われました。

今回合意した団体は奥川地域づくり会議で、同会議の三瓶純一会長と伊藤町長、そして芳賀英次県喜多方建設事務所長が合意書に調印しました。

このサポート制度の合意によって、同会議が道路の除草や花植えを、町は連絡調整や収集ごみの処分を、そして県建設事務所が活動用品の貸与や活動のPRを行います。今後、国道459号の美しい景観づくり、さらに奥川地区の活性化に向けた活動が進められることとなります。



「たばこ」の害について考えましよう

～自治区集会所の禁煙・分煙アンケート結果から～

たばこの害って？

「たばこ」の中には4000種類以上の化学物質が含まれ、その中には多くの有害物質が含まれています。代表的なものには血圧を上昇させるニコチン、発がん物質の多いタール、酸素の運搬を妨げる一酸化炭素などです。

たばこには主流煙と副流煙があり、特に副流煙はフィルターを通っていないため、主流煙よりも2～4倍多い有害物質を含んでいます。

【副流煙】
たばこの火から立ちのぼる煙。



【主流煙】
喫煙者が吸うたばこの煙。

【呼出煙】

喫煙者が吐き出した煙。副流煙と合わせると環境中たばこ煙と呼ばれ、たばこを吸わない人は、この両方の煙を吸うことで受ける害が一層多くなります。

たばこを吸わない人が知らないうちにたばこの煙を吸っていることを「受動喫煙」といいます。喫煙者は周りの人や子どもたちへの配慮を心掛けましょう。

進められる禁煙・分煙

前述のような受動喫煙を防止するため、平成15年に健康増進法で「多数の人が利用する施設の管理者は、受動喫煙の防止に努めなければならない」と定められました。

さらに平成22年には「公共的な空間については、全面的に禁煙であるべき」とされ、現在、多くの病院や公共施設、職場等で禁煙対策が進められ、また飲食店等でも禁煙・分煙状況が分かる表示の工夫などが行われています。

表1 町内の集会所等の禁煙・分煙状況

地区	平成21年 禁煙・分煙 施設	平成24年 禁煙・分煙 施設	禁煙・分煙 達成率
野 沢	2カ所	5カ所	10%→25%
尾野本	2	3	10%→14%
群 岡	2	8	22%→89%
新 郷	3	5	18%→29%
奥 川	5	10	24%→48%
町全体	14	31	16%→35%

集会所の禁煙・分煙状況は？

町では前回調査の平成21年から3年が経過した平成24年3月に自治区の集会所等の禁煙・分煙状況についてアンケート調査を実施しました。結果は左上「表1」のとおりです。

各地区とも禁煙・分煙に対する意識が高まってきており、5地区すべてで前回調査よりも禁煙・分煙化が進みました。

特に群岡地区では達成率が大きく上昇しました。一方、野沢・尾野本・新郷地区では一層の禁煙・分煙の推進が必要です。町では4月に各自治区へ禁煙ポスターを送付しました。今後もこうした事業を通して町民の皆さんの健康づくりのため禁煙・分煙を推進していきます。



各自治区に配布の禁煙ポスター
(下小屋・小柴自治区長)

禁煙サポーターのお知らせ

禁煙成功の秘訣は『正しい方法』で行うことです。

町では禁煙を希望される方へのサポートを実施しています。禁煙に向けて一緒に取り組んでみませんか。

これから禁煙したいと考えている方は健康支援係または医療機関にご相談ください。町内の診療所でも受け付けています。

【問い合わせ先】

健康福祉課・健康支援係

☎ 45-4532

すごいな 虫歯のない子

3月21日、3歳児5名を対象に健康診査を行った結果、虫歯のない子は3名でした。



矢部 光人くん
(真ヶ沢)



三留 夕都莉ちゃん
(西林東)



長谷川 莉鳳ちゃん
(西林東)

西会津スポーツセンター 「健康は笑顔を生み出すバロメーター」

紹介

運動不足から体力の低下やストレスなどの症状を訴える人が多くなつてきています。健康な生活を送るためには、心身のリフレッシュが必要であり、スポーツの果たす役割は大きいのです。

西会津スポーツクラブでは、子どもから大人までのスポーツを通じた健康・体力の維持増進と交流の場を提供しています。今月はスポーツクラブの各教室を紹介いたします。健康づくりに向けてどうぞ入会ください。

教室名	開催日程・会場
スイミング	月3回(金曜日) 時間 18時30分から1時間程度 会場 さゆり公園温水プール
水中ウォーキング	月3回(木曜日) 時間 18時30分から1時間程度 会場 さゆり公園温水プール
ウェイトトレーニング	月1回(土曜日) 時間 19時00分から2時間程度 会場 旧群岡中学校 ※10名限定
エアロビクス	月2回(日曜日) 時間 19時00分から2時間程度 会場 町公民館
レクリエーションダンス	月2回(金曜日) 時間 13時30分から2時間程度 会場 町公民館
ストレッチ	月1回(月曜日) 時間 19時00分から2時間程度 会場 町公民館
グラウンドゴルフ	毎週水曜日 時間 13時30分から2時間程度 会場 さゆり公園多目的広場

◆年会費(保険料含む)

- 小・中学生 3,500円
 - 16歳～64歳 5,500円
 - 65歳以上 4,500円
 - 幼児(5歳以上)・障がい手帳をお持ちの方は、保険料のみ。
保険料800円～1,850円
- ※スイミングと水中ウォーキングは別途プール使用料が必要になります。

◆入会申込み・問い合わせ先 町公民館 ☎45-3244



▲昨年度ウェイトトレーニング教室

4月から公民館分館長と社会教育指導員が変わりました



◆
社会教育指導員紹介
◆

小寺澤しおみ
(中ノ沢)



奥川分館長
岩橋義平さん
(中町)



新郷分館長
上野進さん
(橋屋)



群岡分館長
齋藤修さん
(上野尻)



尾野本分館長
五十嵐孝明さん
(萱本)

◆
公民館分館長紹介
◆

町民バトンタッチ



西田 優さん [芝草]

五十嵐 亜紀さん(4月号から)メッセージ
いつまでも、その笑顔を忘れずに子育てがんばってくださいね。

あなたの趣味は？
寝ること(笑ってしまいますが…)

あなたのモットーは？
気合いと根性

最近感動したことは？
子どもの成長に日々感動しています

自分を一言で表現するとしたら？
負けず嫌い

熱中していることは？
子育て(奮闘中です)

これからやってみたいことは？
産後でたるんでいる体を引き締めたいです…自分磨き

次の方を紹介してください
R・Sさん(松尾)

あなたの宝物は？
もちろん『子ども』です
「今の私にとってかけがえない存在です。毎日、子どもの笑顔に癒されています」



町民ギャラリー

春愁や捨つるに惜しき手紙束
組板まないたの乾くひまなし水温む
水温む母ほつほつと笑顔なる
移動車の拡声ひびく春を売り
春を抱く山ふところの阿賀野川
水割りへつぎ足す水も温みけり

石川 茂子(西原)
小林 佳子(上野尻)
高橋 栄子(上野尻)
豊島 登山(下野尻)
星 敬介(上野尻)
渡部ミツイ(芝草)

[3月例会]

聞いて！わたしの夢

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分の想い描いている夢や目標などを話していただいています。

今月は、3年・生徒会副会長の齋藤美紅さんです。

◆わたしの夢

「私の将来の夢、それは美容師になることです。自分で髪を切ったり、時々、妹や小さな子の髪を結んだりしています。この職業に就きたいと思った理由は、以前通っていた美容室のチーフさんに憧れたからです。いつも笑顔でお客さんに明るく接し、私も笑顔の絶えない明るい美容師になりたいと思いました。また、お客さんに『また来たい』と思ってもらえるような接客と技術を持つ美容師になりたいと思っています」

◆心掛けていること

「一つは誰にでも明るく接すること、もう一つは、いつも笑顔を忘れないことです。どちらも接客業として大事なことなので、これからも心掛けていきたいです」

◆最後に未来の自分に一言

「自分の夢を叶えられましたか？いろいろ大変だと思いますが、あきらめずに、笑顔を忘れずにがんばってください」



以下は広告です。内容については、広告主へお問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】企画情報課・広報広聴係

☎45-4536

まちの人口 ～4月1日現在～ (前月比)

人口	7,563人	(-33人)
男	3,643人	(-21人)
女	3,920人	(-12人)
世帯	2,814世帯	(-4世帯)

戸籍の窓口 ～3月受付分～ <敬称略>

お誕生おめでとう

五寧	大陽くん	陽平・よしみ	西林東
外島	美伶ちゃん	拓・裕子	下野尻
長谷沼	凛ちゃん	徳義・美紀	小清水
遠藤	瑠愛ちゃん	誠・恵実	八重窪

ご結婚おめでとう

伊藤	仲史	1町内
目黒	史	湯川村

お悔やみ申し上げます

清野	キシ	(96)	勇治	祖母	塩喰
江川	巖	(87)	貞一	父	牧
松澤	行雄	(90)	ヨシ一	夫	安座
渡部	キヨ子	(90)	賢太郎	母	上小島
渡部	キツユ子	(94)	鉦太	母	黒沢
平井	謙一	(73)	キヨ子	夫	黒沢
目黒	クマ	(87)	深雪	母	出ヶ原
高津	新悟	(69)	新平	弟	端村
荒明	ムメ	(92)	ちよい	母	宝川
猪俣	里子	(71)	隆吉	妻	新町
熊倉	米子	(87)	友和	祖母	新町
矢部	武二	(86)	丈夫	父	中ノ

◆ 副町長紹介 ◆



藤城 良教
(福島県より派遣)

【略歴】

専修大学法学部卒、43歳。
平成3年4月に県職員に採用され、商工総務領域・総務企画グループ、議会事務局などを経て、平成21年4月より企画調整課に勤務。喜多方市生まれ。

◆ 新採用職員紹介 ◆



町民税務課主事
佐藤 聖矢
(下小島)



西会津診療所長代理[内科医]
三留 正成
(さゆりが丘)



商工観光課主事
田崎 友梨
(出ヶ原)



健康福祉課社会福祉士
白井 嘉奈子
(喜多方市)

町職員の人事異動

◎副町長就任「4月1日付」
藤城良教(福島県より派遣)

◎退職「3月31日付」

▼斎藤俊二(教育課)▼鈴木義孝(建設水道課)▼佐藤教男(農業委員会(併)農林振興課)▼平野健一(教育課)▼横浜市へ復帰尾坂千尋(商工観光課)

◎異動「4月1日付」

▼町民税務課長新田新也(商工観光課)▼商工観光課長大竹享(教育課)▼教育課長成田信幸(町民税務課)▼教育課主幹(兼)公民館長薄上亮一(健康福祉課)▼総務課長補佐(兼)総務係長玉木周司(農林振興課)▼町民税務課長補佐(兼)町民生活係長石川藤一郎(総務課)▼町民税務課長補佐(兼)税務係長「民税・固定資産税担当」渡部英樹(企画情報課)▼健康福祉課長補佐(兼)福祉介護係長「福祉担当」嶋田純子(出納室)▼農林振興課長補佐(兼)農政係長長谷川浩一(町民税務課)▼企画情報課長補佐(兼)企画政策係長(兼)広報広聴係長矢部喜代栄(総務課)▼建設水道課長補佐(兼)建設係長野原竹夫(建設水道課)▼総務課行政管理係長鎌倉康裕(健康福祉課)

▼総務課財政係長渡部栄二(総務課)▼健康福祉課福祉介護係長「介護担当」上野美子(町民税務課)▼建設水道課上下水道係長佐藤広悦(教育課)▼教育課生涯学習係長荒井克巳(商工観光課)▼健康福祉課保健師長田崎美記子(健康福祉課)▼健康福祉課保健師長伊藤文枝(健康福祉課)▼商工観光課地域振興係長佐川勝美(商工観光課)▼出納室出納員三瓶ひとみ(建設水道課)▼教育課給食センター次長佐藤栄作(建設水道課)▼農業委員会事務局次長(併)農林振興課長谷川賢司(建設水道課)▼農林振興課主任主査齋藤洋子(町民税務課)▼総務課主査渡部和徳(企画情報課)▼総務課主査齋藤淳(健康福祉課)付西会津町社会福祉協議会派遣)▼総務課主査橋谷田和弘(教育課)▼企画情報課主査佐藤泰久(総務課)▼町民税務課主査中谷博道(健康福祉課)▼町民税務課主査上野静江(農林振興課)▼健康福祉課主査小林和洋(総務課)▼商工観光課主査矢部重勝(総務課)▼建設水道課主査三留昭生(健康福祉課)▼建設水道課主査齋藤賢(商工観光課)▼商工観光課主事小澤伸行(総務課)付横浜市派遣)▼休職「職員組合専従」鈴木洋祐(企画情報課)

西会津小で初めての入学式

4月6日、西会津小学校では開校式に引き続き、入学式が行われました。

初めての入学生となった30名は、担任の先生から名前を呼ばれ大きな声で返事をしていました。

式では玉木^{うた}さんと小林^{るい}さんが新入生を代表し、松本校長より新しい教科書を受け取りました。

また、同日から児童生徒専用のスクールバスの運行が開始され、児童たちは出迎えた新しい先生に元気よくあいさつしていました。

こゆりちゃん トピックス



祝入学



- ① わくわくどきどき新入生入場
- ② 担任の先生から呼名される新入生
- ③ 新しい教科書を受け取る玉木さんと小林さん
- ④ 専用スクールバスから降り西会津小学校へ向かう児童



今月の表紙

西会津小学校が4月6日に開校し、新たな歴史の1ページが始まりました。開校式では大きな期待を胸に児童たちが何度も練習して覚えた校歌を斉唱し、新校歌が披露されました。

◆編集後記◆
例年よりも残雪が多く、寒い日が続く中、新年度がスタートしました▼4月1日の人事異動により、9年を経て再び広報の担当となり、きついスケジュールでしたが何とか5月号の発行にこぎ着けました▼まだ異動から1カ月ですが、取材で外出し、多くの方との出会いがありました▼締め切りに追われる日々が続きますが、一期一会、また、前任者の熱意を受け継ぎ、皆さんにページをめぐっていただけるよう紙面づくりに精一杯取り組んでいきますので、よろしくお願ひします。

広報にしあいづ

2012 (平成24年)

5

月号

発行：西会津町 編集：企画情報課
☎0241-45-2211 (代表)
info@town.nishiaizu.fukushima.jp
http://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/



この広報紙は、環境に優しい大豆インキを使用しています。